

JICA 草の根技術協力事業「湖南省洞庭湖流域農村水環境改善プロジェクト」 訪日研修を実施しました

掲載日：2018年 8月21日

公益財団法人淡海環境保全財団が滋賀県の協力を得て実施している JICA 草の根技術協力事業の一環として、平成30年7月5日から20日の期間、中国湖南省の農村を対象とした環境教育および農村面源汚染に係る政策および技術部門担当者を対象にした研修を実施しました。

これまで実施してきた活動の実績を踏まえ、平成31年6月のプロジェクト終了に向けた課題の抽出と評価、進捗管理、ならびに成果達成に向けた共同作業を中心に、滋賀県の職員や専門家による講義、現場での体験学習を実施しました。

研修内容

日本の水環境改善の技術と取り組みおよび環境教育の手法と取り組みについて研修するもので、汚水処理分野のメンバーは、汚水処理設備の原理・管理・整備計画、食の安全の取り組みなどを、環境教育分野のメンバーは、日本の環境教育リーダーの活動内容やスキルについて、また、実際に環境ボランティアとして活動している方々の実演からプログラム実施の手法などについて、学びました。

また、生活排水処理の手法の一つであるし尿処理の施設を視察し、施設を適切に維持管理することの重要性を理解することができました。

さらに、赤野井湾流域の河川環境活動を行っている NPO 法人びわこ豊穰の郷での交流では、住民だけでなく企業および行政が一体となっていくことの重要性など、双方の活動の取り組みについて意見交換が行われました。



コラボ 21 での講義風景



豊穰の郷での現場視察



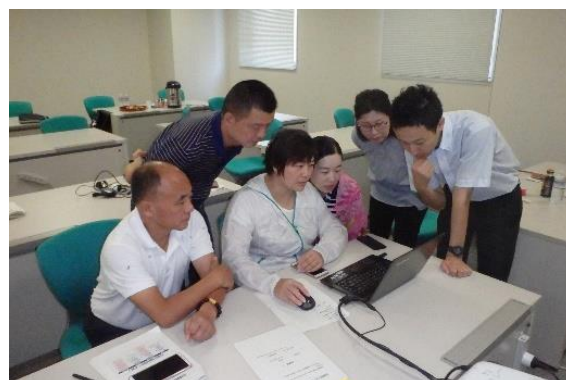
琵琶湖博物館での視察



環境教育プログラム体験実習（環境教育分野のメンバー）



生活污水处理の普及啓発資料・維持管理資料の作成（污水处理分野のメンバー）



研修の成果

污水处理分野では、住民向け生活污水および農村面源汚染の啓発資料の素案や専門家向け污水处理設備の維持管理マニュアルの素案作成等を行いました。

また環境教育分野では、環境教育リーダー養成講座プログラム素案や農村環境プログラムの素案作成等を行いました。

研修生による検討成果は、関係者が出席した成果発表会で発表され、活発な意見交換が行われました。



研修成果を発表する研修員



修了式



最後に関係者と記念撮影